みんなでチャレンジ!

仕事と育児・家庭を



両立しやすい職場づくり



お仕事しているパパ・ママを見学!

実施しました

子どもお仕事参観日

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。 働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、 新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、 仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。

株式会社最上田組「横手市」

業種:建設業 従業員数:32名







(株)最上田組は、農業土木工事から道路、橋梁、工事などのインフラ整備までの総合土木関連事業を手がけています。建設現場の仕事は技術と経験、そして信頼関係で結ばれたチームワークが要。そうした仕事にあたる従業員を支える家族の理解や協力が欠かせないことから、仕事と家庭が両立できる環境づくりに取り組んでいます。残業規定の厳格化で労働時間を短縮し、時間単位の有体や子の看護休暇、さらに配偶者出産休暇の取得もすすめ、従業員の満足度向上を図っています。

また、仕事に必要な免許や資格の取得なども積極的に奨励し若手を育成しており、技術を身につけ、家庭を大切にしながらキャリアアップできる職場づくりにも意欲的です。

:当日のスケジュール

10:00 開会•一日社員委嘱状交付

10:30 現場見学 ドローン撮影した工事現場紹介

12:00 昼食

13:00 感想発表・記念品授与・終了

見学内容

【参加者/幼児2名・小学生3名】

3回目の開催となるお仕事参観日は、子どもたちがふだん立ち入れない、ほ場整備や道路工事の現場を見学。たくさんの土を押し運ぶブルドーザー、その土を持ち上げるバックホウ、土とセメントを混ぜて地盤を固めるスタビライザーといった大型建設機械が動いています。いつもは遠くから見ているだけの工事現場も間近で見ると迫力たっぷり。それをラクラク操縦しているお父さんたちの、お家ではなかなかみられない真剣な様子に見入っていました。大型機械のひとつバックホウに乗せてもらうと女の子も大喜び。カッコいいお父さんやおじいちゃんがますます大好きになったようです。

この後、各地で施工した工事現場をドローンで撮影した映像を見て、空から見た工事現場を確認したほか、工事現場での砂遊びや社内でのかけっこ、昼食などをたっぷり楽しみました。











保護者から

土木課長補佐 柏倉さん

今回は3歳の長男を初めて連れてきました。ほかの子たちにたくさん遊んでもらい、楽しい一日になりました。バックホウは少し怖がっていましたが、一緒に乗ったらずいぶんはしゃいでいましたね。私の仕事を間近で見て、少し興味を持ってくれたかな?



職場から藤原総務課長

子どもの病気や学校行事などで忙しい子育て世代、農繁期の兼業農家なども多く、繁忙期は現場監督がシフトを調整したり、外部に委託して対応しています。職場での会話から、子どもの成長や充実した家庭の様子を感じとることができ、従業員の働きがいにつながっていることがよくわかります。お仕事参観日は、従業員がいつもうれしそうに話している子どもたちに会えるので、職場の仲間も楽しみにしています。こういう機会を通して理解や思いやりを深めたいですね。